授業ガイド

Unit 3 ・ だれの

Whose it is, and checking ・ 第1章

持ち物についてのやり取りが、ひととおりできるようになります。「これ、だれ の かばん ですか」「わたし の です」のような会話です。文法は3つあります。名詞を2つつなぐ「の」、持ち主を尋ねる「だれの」、それに文の終わりにつく「ね」「よ」です。「ね」「よ」は、同じ内容でも相手が知っているかどうかで言い方が変わる、というところを扱います。

1　このユニットの中身

	文法	このパートでやること	分
PART 1	の 格助詞「の」	「の」で名詞を2つつなぐ形を学びます。	10
PART 2	だれの 疑問詞「だれ」＋格助詞「の」	持ち主の尋ね方と答え方を学びます。	10
PART 3	～ね ・ ～よ 終助詞「ね」「よ」	「ね」と「よ」の使い分けを学びます。	8

PART 1 の 10分

Joining nouns with の

文法用語 格助詞「の」。名詞と名詞をつなぐ連体修飾をつくる。

「の」で名詞を2つつなぐ形を学びます。

「わたし の かばん」「かいしゃ の ひと」のように、名詞と名詞の間に「の」が入る形を扱います。英語の my bag と同じ順なので、ここはすぐ理解できる学習者が多いです。時間がかかるのは「にほんご の せんせい」のように、持ち主以外の関係を表すときです。日本語の「の」は、2つの名詞に関係がありさえすれば使えます。だれのものか（わたし の かばん）、どこの人か（かいしゃ の ひと）、何についての本か（にほんご の ほん）。関係の中身は前後が決めるので、「の」自体は「この2つはつながっている」としか言っていません。この幅の広さを先に伝えておくと、生徒さんは意味を1つに固定しなくなります。

このパートで、生徒さんができるようになること

- ☐ 「わたし の かばん」で持ち主を言える
- ☐ 「にほんご の せんせい」で何の先生かを言える
- ☐ 名詞2つの間に「の」を入れられる

生徒さんの画面: Join two nouns with の: a Japanese teacher, my company / Say which one you mean, without a long sentence

先生が足すこと

練習は、生徒さんの持ち物と会社名で行います。スライドの例より、自分の持ち物のほうが記憶に残ります。持ち主以外の「の」も、生徒さんのことで作ると伝わります。「にほんご の せんせい」「えいご の ほん」のように、生徒さんが実際に持っている物や、関わっている仕事で例を作ると身近になります。英語との語順の違いは、紙に英語と日本語を上下に並べて書き、矢印で入れ替わりを示すと、説明より早く伝わります。

よくある間違いと、その場の言い方

× 語順を逆にする（せんせい の にほんご）

英語は teacher of Japanese の順で、説明する側が後に来ます。日本語は先に来ます。生徒さんは英語の語順のまま単語を置き換えるので、逆になります。「にほんご の せんせい」と「せんせい の にほんご」は、どちらも日本語として成立してしまうところが厄介です。後者は「先生が持っている日本語（の本など）」という意味になるので、文としては通るのに、言いたいことと違う意味で伝わります。2つを並べて、意味が変わることを見せると分かりやすくなります。

英語で In Japanese the describing word comes first: にほんご の せんせい — Japanese, then teacher. If you flip it, せんせい の にほんご, you are saying “the teacher's Japanese”. Both are real sentences, so the mistake does not sound broken — it just means something else.

× 「の」を落とす

英語は名詞を2つ並べるだけで成立します（Japanese teacher, company car）。日本語は間に「の」が必要です。ただし例外もあって、「にほんご きょうしつ」のように1語として定着している組み合わせでは「の」が入りません。初級では「名詞2つの間には「の」」と覚えてもらえば足ります。例外に出会ったときに、その語だけ覚えてもらう形で進められます。

英語で Two nouns need の between them: にほんご の ほん. English just puts them side by side — Japanese needs the link.

× 「の」を英語の **of** と**1**対**1**で覚える

「の」を of だと覚えると、「わたし の かばん」が of me the bag のように感じられて、語順が混乱します。英語で言えば、of と 's の両方に当たります。「わたし の かばん」は my bag、「にほんご の せんせい」は teacher of Japanese です。英語側では2つの形に分かれるものが、日本語では「の」1つにまとまっている、と伝えると整理できます。

英語で の covers both “of” and “‘s”. わたし の かばん = my bag. にほんご の せんせい = a teacher of Japanese. One word in Japanese, two patterns in English.

音読

わたし の かぞく At the office. Ms. Suzuki sees a family photo on Mr. Tanaka's desk.

「の」を含む行に先に印をつけてから読みます。

つぎへ進む目安

それ は だれ の ほん ですか。

sore wa dare no hon desu ka

「の」が入っているか。

PART 2　だれの　10分

Whose is it?

文法用語　疑問詞「だれ」＋格助詞「の」。答えは「の」で終わる準体用法。

持ち主の尋ね方と答え方を学びます。

「だれ の ですか」「わたし の です」のように、持ち主を尋ねて答える形を扱います。尋ねる形と答える形を、セットで扱います。答えを「の」で止められると、生徒さんは短く答えられるようになります。家族の単語を使って、「あにの」「ちち の」まで広げます。

このパートで、生徒さんができるようになること

- ☐ 「だれ の ですか」で持ち主を聞ける
- ☐ 「わたし の です」で答えられる
- ☐ 家族の単語で持ち主を言える

生徒さんの画面: Ask whose something is (だれ の ですか) / Answer with just の: mine, Mr. Tanaka's / Say it is not yours

よくある間違いと、その場の言い方

✖ 「わたし の かばん です」と毎回言う

英語は mine の1語で言えるので、名詞を省略できることが見えません。「の」で止めた形が mine に当たります。

英語で　「わたし の です」is enough — it already means “mine”.

音読

だれ の かばん ですか After a meeting, a few things have been left on the table.

持ち主を確認しながら読みます。

つぎへ進む目安

この ペン は だれ の ですか。

kono pen wa dare no desu ka

「の」で終われているか。

PART 3　～ね ・ ～よ　　8分

Softening and asserting

文法用語　終助詞「ね」「よ」。話し手と聞き手の情報の差を示すモダリティ。

「ね」と「よ」の使い分けを学びます。

「かいしゃ は あそこ です ね」「ちがいます よ」のように、文の終わりに「ね」「よ」がつく形を扱います。文法というより、会話の調子です。文の意味は変わらず、相手との距離だけが変わります。使い分けは、くり返し聞くうちに身についていきます。説明するより、先生が声で聞かせるほうが伝わりやすいです。

このパートで、生徒さんができるようになること

- ☐ 「～ですね」で同意を求められる
- ☐ 「～ですよ」で知らないことを伝えられる
- ☐ 「いいえ、～です よ」でやわらかく訂正できる

生徒さんの画面: Soften what you say with ね, when you expect agreement / Add よ, when you are telling someone something new

先生が足すこと

先生が同じ文を、言い方を変えて2回読みます。文字だけでは「ね」と「よ」の違いが分かりません。

よくある間違いと、その場の言い方

× 「よ」を強く言う

教える気持ちが強く出ると、押しつけに聞こえます。軽く添える程度で充分です。

英語で　Say よ softly. Said hard, it sounds like you are correcting them.

× 全部の文に「ね」をつける

「ね」は柔らかく聞こえるので、付けておけば安全だと感じます。相手も知っている内容にだけ付きます。

英語で　Use ね only when you think I know it too.

音読

たなかさん の こども です ね The next day. Ms. Suzuki checks what she remembers about the photo, and gets one thing wrong.

「ね」と「よ」の行を、言い方を変えて2回読みます。

つぎへ進む目安　かいしゃ は あそこ です ね。
kaisha wa asoko desu ne
「ね」と「よ」を使い分けているか。

2　ふくしゅうと会話

ふくしゅう	ふくしゅうのパートで、翻訳の問題を一度やってみます。できたことチェックは、生徒さんが自分でつけます。
会話	Whose is it, and who is who Ask whose the things around you are. Then tell your tutor about one person in your family: who they are and what they do. 持ち物と家族の仕事を聞き合います。「ね」と「よ」を1回ずつ使ってもらいます。

3　宿題と、次回の頭

渡すもの	宿題（19語・穴うめ9・作文8）と単語シート。解答も一緒に渡して、やってから答え合わせをしてもらう。
言うこと	「このユニットの日本語を、声に出して読んでください。5〜10分でいいです」と、音読を宿題として言い切る。
次回の頭	Unit 3 の小テストから始める。まちがえたところだけ、その場で口に出して直す。